



政府・国鉄当局の賃金抑制攻撃を許さない

日刊 動労千葉

83, 4, 5

No. 1307

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・(公衆)四七三(22)七二〇七

中江選挙闘争勝利を突破口に 一切の攻撃をはねかえせ

動労千葉は、第七回支部代表者会議における当面する闘いの目標①八三年度新賃金要求・仲裁完全実施・年度末手当獲得②の具体的取り組みとして当局に申し入れた第6・10・11号に基づく団体交渉を強化し、要求の実現にむけて取り組んできました。そして三月三十日、各支部代表者が参加する中で団体交渉を開催し、年度末手当の組合要求による早期支給を中心当局を厳しく追及しました。

年度末手当については、日刊号外(83・4・1)で既報の通り極めて不当、不満な内容で集約をしましたが、83年新賃金に対する政府・自民党・当局の基本姿勢は年度末手当にみられるように、国鉄に対するあからさまな賃金差別③国鉄労働運動解体攻撃にあります。われわれは、これらの理不尽な国鉄差別攻撃を打ち破り、国鉄労働運動の前進にむけ全力で闘いを構築しなければなりません。

無責任な当局の姿勢を弾劾する

動労千葉は、2月22日、申第6号～82年度、年度末手当の支払いに関する申し入れ）、3月14日、申第10号（83年4月1日以降の新賃金についての申し入れ）、3月15日、申第11号（83年4月定期昇給に関する申し入れ）を発出し、組合主張に沿った早期実施を要求してきました。

ところが、3月30日の団体交渉において当局は、①年度末手当、新賃金については国鉄をとりまく厳しい情勢によつて資金のメドも含め解決されていない。現時点では具体的回答はできない。②昇給協定については成案ができていない。時間を貸して欲しい。

という年度末まであと一日しかない日時であるにもかかわらず、経営責任を放棄した無責任な回答をおこなつてきました。

動労千葉は、

当局は「35万人体制合理化に協力すれば賃金には責任をもつ」という態度で職員を翻弄し、人減しを強行してきたのであり、賃金の保障すら確約しないという当局の姿勢は、責任を放棄し、合理化に協力すればあたかも赤字は解消されるという幻想をいだかせ、末端の労働者にのみ合理化と賃金抑制をおしつけるものであり絶対に容認できるものではありません。

中江選挙闘争を突破口に

83春闘に勝利しよう

向う労働者・市民の代表 中江さんを推せんします

このような情勢にあつて、83年新賃金をめぐる交渉は、昨年の人効凍結・仲裁の実質的な不実施等厳しいものがありますが、われわれは中江選挙闘争勝利を突破口に83春闘④政治決戦を闘い抜かなければなりません。

浅田光輝氏

中曾根政権による日本の軍事化・反動化の本格化にたいして、草の根からの阻止行動に立ち上つた中江候補を支持します。（立正大学教授、東京実行委代表）

長谷川英憲氏

船橋市議会議員選挙にあたり、中江昌夫さんを推薦します。（杉並区議）

岩崎則子氏

軍大化阻止のため力をあわせてたたかいましょう。（筑波大（教育大）臨職岩崎さんの不当解雇を撤回させる会）

柴田裕治氏

労働者階級の誠実な代表者である中江昌夫さんを信頼をこめて推薦します。

（労働者同志会）

北原選挙と共に中江選挙の大勝利をかりでなく闘う労働者に対し当局の弾圧を助長しないとれ！

動労「本部」はこの間、当局の既得権全面剥奪⑤労働運動解体攻撃に対し屈服と服従を重ねるばかりでなく闘う労働者に対し当局の弾圧を助長しています。

労働運動の産報化へのけん引車となっています。